

北陸土木コンクリート製品技術協会との意見交換会を実施

北陸地方整備局は、令和4年11月29日(火) 新潟市内において、(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会と、土木用コンクリート二次製品の活用や今後の取り組みについて意見交換会を実施しました。

【議題】

- ①社会資本の整備・維持管理・更新に必要な事業費の確保について
- ②コンクリート2次製品の三次元データ化について
- ③土木用コンクリート製品設計便覧“の新製品登録について
- ④コンクリート業界の脱炭素社会に向けた取り組みについて
- ⑤コンクリート2次製品の積極的活用について(VFM)
- ⑥新工法・新製品の開発・改良に向けた連携について

【北陸地方整備局からの情報提供】

- ・北陸地方整備局の予算と主要事業
- ・建設業における担い手確保に向けた働き方改革
- ・建設現場の生産性向上
- ・サステナブルな北陸の未来を目指して 他



(写真)意見交換の様子

【主な意見交換の内容】

BIM／CIMの令和5年度からの本格適用に向け、スキルを身につける場を準備中。これから発信していくので注視してもらいたい。

高炉スラグについては、北陸で使おうとすると愛知から運搬してこななければならない。運搬時にCO₂を排出すること、カーボンニュートラルの考えに整合しない可能性がある。

北陸の現場条件を考えると、いわゆる「ハーフプレキャスト」「プレハブ鉄筋」を積極的に検討・活用するべきである。i-Constructionの3本柱の一つである「全体最適」は最も重要。製品開発に努力していきたい。

消融雪設備の新設や更新などでのプレキャストの活用も有効と考える。コンパクト、機能的な製品を期待している。